

舞台「破門フェデリコくたばれ！十字軍」
(2024.9.21 久留米シティプラザ ザ・グラント
ホール)



私の宇宙一大好きな芸能人、KARTUNの上田竜也が出演。今回も例に漏れず、ファンクラブの力を使ってチケットを勝ち取る。

主演は佐々木蔵之介。上田竜也はそのフェデリコの息子である、ドイツ王ハインリヒを演じた。

私が特に印象に残っている台詞は、ハインリヒが死ぬ際に父フェデリコに言った言葉。

「長生きしてください。あなたがいれば、平和な世の中になる。あなたは私の父である前に王だ」。

それまで反発していたハインリヒが、ようやく父の妻さに気付いたんだと知ったと同時に、ハインリヒにとつてフェデリコは、父ではなく王なのだと思い、複雑な気持ちになった。

二十五歳最初のヲタ活。とても充実した一日になった。その日に持つて行った上田竜也の写真が、片思い相手から誕生日プレゼントで貰ったものだというのは、ここだけの話である。

(池田花穂)

日本現代美術私観・高橋龍太郎コレク
ション

(2024年10月 東京都現代美術館)



秋晴れの休日、東京都現代美術館にでかけました。

清澄白河駅から歩いて十分。まずは二階のカフェへ。お腹がすくと体も動かなくなってしまう私です。テラスで食べるサンドイッチがおいしい。空が青い。

さて、今日の展覧会は「日本現代美術私観・高橋龍太郎コレクション」です。会場に入ると草間彌生、荒木経惟、横尾忠則、村上隆、山口晃、森村泰昌など有名作家の作品がぞろぞろと。相田誠の「紐育空爆之図」まであるのがすごい(大江隆弘さんの歌も有名ですね)。そこから若手作家の最新作まで、時代の流れに沿ったさまざまなジャンルの作品三百点近くが並ぶその迫力。圧倒されました。

更に驚くのはこれらが一人の精神科医によるコレクションだということです。所蔵品は三千五百点余りとか。高さ六メートルの巨大な天使像まであるこれらの作品群をいっただいどうやって「所蔵」するのでしょうか。大邸宅でアートの埋もれて暮らす謎の老精神科医、うーん違うよな、などと考えながら会場を後にしたのでした。

(前中 映)